

雪山トレッキング そして囲炉裏で マタギの話を聞こうを実施しました

朝日自然塾第6回「雪山トレッキング そして囲炉裏でマタギの話を聞こう」は、2月25日（土）西川町大井沢の「自然と匠の伝承館」と「舎那山」で行いました。

2月の始めの大雪（積雪306cm）は落ち着いたものの、当日の予報は雪マークとなっており、大雪の心配もありました。参加を取りやめる方がいるのではとちょっと不安にもなりましたが、当日は、待望の新雪にも恵まれ、朝から真っ白な雪が舞う「雪山トレッキング」日和となり、開始時間には少し遅れるものの、山形市、天童市から予定どおり12名の参加者が揃い、ほっと胸をなでおろしました。

最初に、ほとんどの参加者が「かんじき」は初めてということもあって、スタッフから「かんじき」の履き方を教わりました。初めのうちは第一歩からつまずき転んでしまう方もいましたが、大井沢区のスタッフの丁寧で優しい指導と、圧雪した雪上での歩行練習による慣れで、次第にスムーズに歩くことができるようになりました。

まずは、舎那山の山頂を目指して、雪の積もった林道を進んでいきます。途中では、冬芽の説明と樹木観察を行いました。樹木の名前当てでは、子供達からの素早い回答にスタッフも驚かさされました。

また、ブナの二次林内では動物観察を行い、小鳥の隠れ家（木の穴）を見つけました。リーダーから「驚かさないようにして下さい。」と注意を受けると、子供達は、遠くから中の様子をそっと伺っていました。

更に進むと、雪上にさっきついたばかりのたくさんのウサギの足跡を見つけ、思わず驚きの声も上がっていました。その近くには、ウサギの天敵であるテンの足跡もあり、自然豊かな大井沢の里山で繰り返される食物連鎖の厳しい世界を、子供達は自分の目で感じとっていました。

少し急な登り斜面にさしかかると、スタッフの前田さんから「マタギの山の歩き方」のコツを教してもらいました。思いの外早く、舎那山の頂上に到着しました。眼下には雪に煙る大井沢集落の静かなる美しい景色が広がり、記念写真を撮影しました。

つかの間の休憩の後、元来た道を引き返さずに下山を始めました。

少し歩いていくと、木の実を食べた跡の熊棚を発見しました。



初めてのかんじき体験



大井沢の風雪も体験



子供用カンジキで楽々トレッキング

スタッフの松田さんから、『この里山では、人間が動物たちを理解して、自然の木の実などを熊などに一定程度分け与えながら共存しています。』との説明があり、野生動物と共に暮らすための里山のルールについて学びました。

少し急な下り斜面では雪滑りもしながら進み、やがて平らな場所が広がるところで「大井沢の狩人体験」という体を使ったネイチャーゲームを行いました。

今回のトレッキングでは、新雪でなければ体験することのできない二つの楽しみが体験できました。

一つは、新雪の上に倒れ込む「人型作り」です。

積もった雪が綿雲のようにふわふわして、優しく受け止めてくれるので、子供達は思い思いに新雪に倒れ込んでいました。

二つ目は、ちょっとした斜面をソリのように滑り降りる「雪滑り」です。山には危険な斜面もあるので、リーダーから指示された安全な場所で、大人も子供も一緒になって、歓声を上げながら楽しみました。雪滑り後、全員元気に伝承館へと向かい、トレッキングは無事終了しました。

伝承館へ到着すると、暖かい飲みもので冷えた体を温めた後、スタッフが昼食として準備した熱々の「引き摺りうどん」に舌鼓を打ちました。サバ缶、納豆、ネギ、七味唐辛子など好みのブレンドでつくる味にみんなも満足。うどんのおかわりが絶え間なく続き、大鍋のうどん作りを担当するスタッフも大忙しでした。

昼食後、午後は、焼き栗やスルメをほおぼりながら、大井沢の「マタギ」の前田さんと「先達」^(※)の松田さんから、クマ狩りの話などを聞きました。パワーポイントの生々しい映像と実体験からの迫力ある話にみんなが引き込まれ、話が終わった後には参加者からのたくさんの質問で予定していた時間をオーバーするほどでした。

朝日自然塾第6回では、里山に棲む動物たちが雪山でたくましく生きていることを肌で感じたり、厳しい自然の中で、永々と里山(森林)支え続けてきた人々とのかかわりや生活の知恵について学ぶことができました。

スタッフとして良かったことは、目を輝かせて新雪と無邪気に戯れる子供達もさることながら、そのお父さんお母さんも一緒になって、雪との触れあい楽しんでいただいたことです。

参加者からは、「四季折々の大井沢の自然を見にまた訪れたい。」との感想もあり、スタッフ一同笑顔がこぼれていました。

今回は、西川町大井沢区、山形県猟友会、大井沢自然博物館の皆さんに、講師、スタッフとしてご協力をいただきました。ありがとうございました。

今年度の朝日自然塾は今回で終了となります。来年度も皆さんの参加をお待ちしております。

(※先達=せんだつ・さきだち、巻き狩りにおいて、全体を指揮する人)



熊の好物ドングリの話を聞く



大人も楽しむ雪滑り



柔らかい雪上を滑りました



勢い余ってひっくり返り



焼き柴栗もうまかった



「引き摺りうどん」では特製道具が大活躍



毛皮でクマをまねてみました



「大井沢のカタギの話」と「スルメ」も味わいました



舎那山頂上で記念撮影